

玄平窯の仲間たち展 特別展

里山・土と炎展



花巻市定住交流センター なはんプラザ 3階ギャラリー

〒025-0092 岩手県花巻市大通り一丁目2-21 TEL 0198-22-4412

2026.10.23(金)-27(火) 9:00-20:00

入場無料

(最終日は17:00まで)

〔主催〕里山・土と炎展実行委員会 〔共催〕花巻市

〔協賛〕  和同産業株式会社・ 中屋長左衛門

NPO法人わが流域環境ネット・株式会社日本ホームスパン・小鹿通窯工房・門馬鍍金工房

〔後援〕花巻市教育委員会・岩手県森林組合連合会・えふえむ花巻株式会社

〔協力〕萬鉄五郎記念美術館・花巻市博物館・とうわ野鳥の会・花巻市立東和中学校・民話紙しばいグループ まんだげら

〔お問い合わせ〕里山・土と炎展実行委員会(佐々木) TEL.080-5558-9027

里山・土と炎 展

ごあいさつ

里山・土と炎展実行委員会 代表 門馬 経臣

2011年秋、玄平窯^{げんぺい}に初めて火が入りました。前年完成した窯は、あの東日本大震災の大きな揺れに耐え、奇跡的に被害を免れたのです。5日間の窯焚きで初の作品が生まれました。

この穴窯は多量の薪を消費します。薪集めに奔走し初窯にこぎつけたのでした。以来15年、ここ花巻市東和町を中心に燃料である赤松等の提供を受け毎年2回の窯焚きを行ってきました。薪材はこれまでに軽トラック300台分を越える量となりました。

私たちは里山からたくさんの恵みを受けて活動を続けてきました。焼き物づくりに必要な陶土や燃料の薪材、そして薪窯の運営のための環境を含めた恵みです。この15年を振り返った時、最初に思い浮かんだのは感謝の二文字でした。

この度、里山、そして薪材を提供してくださった方々への感謝の気持ちを表すため、「源平の会」*は里山保全や活用の活動を行っている地域おこし協力隊の但野理香さんと共同で活動の成果を展示・発表することになりました。これを機に、皆様と共に里山への関心を深め、よって保全活動に繋げ、将来の豊かで美しい郷土づくりに寄与したいと考えております。

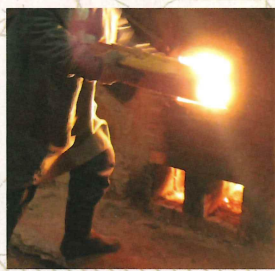
さらに、本展では花巻市立東和中学校1学年の皆さんの作品、とうわ野鳥の会、民話紙しばいグループまんだげらから展示協力を頂いております。また、萬鉄五郎記念美術館をはじめ多くの皆様から多大のご支援と励ましを頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

何とぞご高覧頂きまして、忌憚のないご意見などをお寄せ頂けたら幸いです。

※源平の会：穴窯のある花巻市東和町小通の地は、夏、ゲンジボタル・ヘイケボタルが飛び交うことから集う仲間の会を「源平の会」と称する。窯は源の字を改め、玄平窯とした。

Profile | 花巻市地域おこし協力隊 但野 理香

2024年、東京から花巻へ移住。里山・森林保全をテーマに、森の現場で学びながら、デザインや企画を通して、花巻の里山の魅力を発信している。2026年「いわて森林づくりコーディネーター」認定。



展覧会 [ギャラリー]

10月23日(金)～27日(火)

関連展示 [3階廊下 展示コーナー]

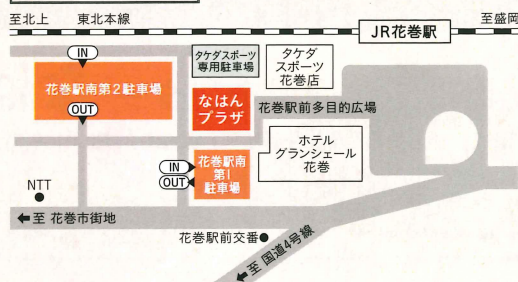
10月11日(日)～30日(金)

3階廊下の展示コーナーでは、陶芸作品、花巻市地域おこし協力隊但野理香さんの活動紹介、とうわ野鳥の会 写真展示、民話紙しばいグループ まんだげら 紙芝居展示をご覧いただけます。

花巻市立東和中学校1学年による陶芸作品や活動風景も展示します！

出品者 (故)五十嵐 彰・井川 ゆきな・上山 学・小野寺 晶子
菊地 孝子・菊原 和明・菊原 雅子・工藤 靖・黒田 思子・作山 裕彦
佐々木 真由美・佐々木 彩瑛・佐々木 弥代・佐藤 悟・佐藤 友紀恵
中條 広一・宮川 正裕・宮川 美智子・門馬 経臣・門馬 優子

なはんプラザ周辺図



[アクセス]

花巻市定住交流センター なはんプラザ

〒025-0092 岩手県花巻市大通り一丁目2-21

花巻駅より徒歩1分／東北新幹線花巻駅より車で約20分

花巻空港より車で15分／東北自動車道花巻ICより車で約20分

東北自動車道花巻南ICより車で約10分

[駐車料金] 花巻駅南第1・第2駐車場 入庫から1時間まで無料